

平成21年度第4回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成22年2月2日（火）午後1時30分～午後4時5分

場 所 八幡タウンセンター 交流ホール

出席者（14名）

1号委員 佐藤重孝 土井棟治朗 土井長俊 信夫一秋 後藤甚一
丸藤百合子 後藤正利 池田善幸 遠田蓉子

2号委員 後藤純子 兵藤満喜子 池田桂 高橋知美

3号委員 後藤征四郎

八幡総合支所：支所長 後藤登喜男、地域振興課長 後藤修、地域振興主幹 齋藤仁志、
市民福祉課長 川島真、建設産業課長 土田清一、八幡病院事務長 小松秀司、
地域振興課 永森忠嗣・御船正周・佐藤義夫

欠席委員 浅井博之委員

傍聴者： 4名

議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 協 議
 - (1) 地域づくりをする前にすることについて
 - (2) その他
- 5 総合支所からの報告事項等
 - (1) 八森自然公園の土砂採取に係る現状報告について
 - (2) その他
- 6 閉 会

1 開 会

○兵藤満喜子副会長　本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第4回目の地域協議会を開会いたします。本日、都合により欠席の委員は、浅井博之委員、1名です。会議次第に従いまして、土井会長からの挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

○土井長俊会長　今回は、ご案内のとおり、高橋知美委員から提出された課題を協議し、その後、既に協議済みの2委員の課題に関し、補足意見がありましたら、伺いたいと思います。

3 会議録署名委員の指名

○兵藤副会長　会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。会議録の署名は、委員名簿の順番で行うこととしておりますので、今回は、“5番の後藤甚一委員”にお願いしたいと思います。後藤甚一委員、よろしくをお願いします。

○後藤甚一委員　はい。

○兵藤副会長　それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

4 協議

○土井議長　それでは課題に対する協議を行いません。高橋知美委員から提出された“地域づくりをする前にすることについて“に関する提案理由の説明を委員よりお願いし、その後に意見交換を行ないたいと思います。では、高橋委員よろしく願います。

○高橋知美委員　まず、本日出席されている方全員、支所の職員も含めてですが、地域づくりをどう考えているか、地域づくりとは何か、お聞きしたい。

○齋藤地域振興主幹　昨年4月からこちらにお世話になっていますが、私は酒田から通勤しており、地元で認識されていないものが客観的に見える、ということはあると思います。なお、地域づくりで言えば、隣近所が仲良くやり、その関係が次第に濃くなっていく、ということが出発点ではないかと考えます。

○高橋知美委員　ありがとうございます。地域づくりとは何か、と問われて、こうだ、と答えられない人に地域づくりはできないと思います。ここに出席の委員は、地域の代表者ですので、地域の意見を吸い上げ、それをこの協議会で発表する必要があります。“地域づくり”について私なりに調べ、資料を皆さんに配布しましたのでご覧下さい。地域づくりとは何か、が詳細に書いてあると共に、「地域づくりにおける課題と方策」が用意されて、一から始める必要はありません。また、地域づくりをサポートする様々なネットワークがあり、昨年11月10日～11日にNPO活動推進フォーラム山形大会が開催され、2日間で1,000人の参加者があったそうです。様々なNPO団体が主催者となり、その中のパネルディスカッションで、皆さんもご存知の本市のNPO法人あらの代表者が意見を述べていました。私が考えていることですが、良い地域づくりとは、まず、地域計画をしっかりとすること、住民との対話をしっかりと行い、計画性・透明性・

継続性等が反映されているものであること、ランニングコストが安価であること。次に、市民参加が活発ということで、ボランティアスタッフが行政や地域を支えていることです。請負・委託という上下関係ではなく、対等の立場でなければ真の市民参加とはならない。八幡の方は、「ああしたらいいのではないか」と言いつつ、結局は全て役所からやってもらう、という風潮だったのではないか。今必要なのは、上も下も関係なく、一緒にやっていくことではないか。それから、行政、市民、コミュニティが勉強し続けることが大切だと思います。先ほど、お話した大会の主催者の一つが出版した「NPOが社会を変えられない5つの理由」という本があり、その理由として、①権利を知らない、②制度を知らない、③調べられない、④形にできない、⑤伝えられない、があるそうです。地域づくりには住民全員が勉強する機会と一致団結して事に当たる必要があります。もう一つの資料をご覧ください。川西町の吉島地区ですが、地区全体をNPOにしたというものです。すぐれた地域づくりをしており、八幡に似たような面があったので紹介するもので、観音寺地区と世帯数等が変わりないようです。最後のページには、「きりりよしじまネットワーク地域づくり5か年計画」が載っており、これは自分たちで部会ごとに作成しているようです。やはり、しっかりしたビジョンを持たないと地域づくりはできないので、外部の講師やコーディネーターを呼んで、常に勉強会を開くようにしていく必要があると思います。

○土井議長　それでは委員の皆さんからご意見を頂戴したいと思います。

○後藤甚一委員　高橋知美委員の言うことは分かりますが、余りやり過ぎると地域がついてこれない。大沢地区ではこれまでの事業を継続して実施していますが、これにまた増やすということは、人数も少ないことから難しいと思いました。

○池田善幸委員　地域づくりとは何か、ということだが、我々は何のために生を受けているのか、ということから始まる。誰でも幸せを求めて生きるが、では幸せとは何か、自分の思うように生きることではないか。一方では、自分が生活している周囲も一緒に喜びを分かち合うことが幸せ、という考えもある。自分の周囲を巻き込み地域をつくることで自分自身に幸せが返ってくると思う。独身の時は、意見の合わない周囲や友達と付き合いなくとも生活ができた。ところが、子供が生まれ、成長に従って、保育園の保護者会や学校のPTAという周囲と関わらざるを得なくなった。生きていくには、目先や自分が関わる事に問題意識を持ち、行動することが必要で、最初から最後まで、行政に頼るのではなく、自分たちの地域は自分たちで守り、作り上げなければいけない。

○兵藤副会長　ここに出席している委員の皆さん、一人一人興味のあることは違うと思います。私個人のことで言えば、音楽を通じて、ボランティアで施設の訪問をしています。自分ができる範囲で活動し、他の人を誘ったり、巻き込むことが必要ではないでしょうか。

○遠田蓉子委員　地域づくりとは、地域の皆が互いに支え合い、助け合い、そしてこれを大きく発展させていくことだと思います。コミュニティが発足したので、ここを利用し、いろいろなことをやりたいと考えています。

○佐藤重孝委員　地域づくりとは、利便性や経済的なものも含む、安心して暮らせる地域

をつくることではないか、と思います。旧町時代は言うならば、痒くないところまで手が届いていたが、今はそうではない。自らの手で地域おこしをしなければならない。そのためのリーダー役を果たす役割の「人・グループ」をどういう風に育てたら良いか、ということが課題ではないか。

○**信夫一秋委員** 地域づくりにはやはり人材育成が大切で、リーダーと地域住民の2面の人材育成が必要ではないか。4地区に地区社協が発足し、新草の根事業を実施していますが、行政及び社協主導から地域住民主導へ事業をリードするためには、リーダーと地域住民双方のレベルアップが直結します。

○**後藤正利委員** 信夫委員からあったように、リーダーの育成が重要です。日向コミ振の女性部の中の婦人会を解散し、「女性の会」を設立する相談の中で、役員のなり手がいない状況でした。本地区の様々な事業には女性部の協力が欠かせません。なり手がいないことに関しては、区長や青少年育成推進員についても同様の状況です。

○**土井議長** ほかにご意見はありませんか。

○**池田善幸委員** 小学校統合の話し合い時に、将来の子供を酒田市はどのような風に育てたいのか、と尋ねたところ、回答はありませんでした。日向小学校は人件費・維持管理費が年間何千万円かかる、という話をしていたが、人づくりに金がかかるのは当たり前のことで、人の痛みが分かる人間を育てる必要があるのではないか。自分の周囲を巻き込んだ形で幸せを求めなければ、本来の地域づくりにはならない。人が困っているときに、手を差し伸べる役割をする人をいかに育てるか、が教育の役割だと考えます。

○**後藤純子委員** 地域の将来を考えると、このままで良いのか、活性化を図らなければ取り残されるのではないかと考え、前回、「地域の宝の掘り出しについて」という課題を出したわけです。どこにでもあるものではなく、ここにしかないものをアピールする必要があります。配布した資料には、長崎県の離島のケースがあります。かく言う自分も中心になって動けるかと言うと、なかなか動けませんが、皆で協力すればできることは必ずあると思います。

○**池田桂委員** やはり人づくりが一番ではないかと思います。また地域に魅力がなければ住みたい気持ちにはなりません。そこにあった地域づくりを考えるとともに、人材育成を図る必要があるのではないか。

○**後藤征四郎委員** 全体の動きの中で、やはり現状分析をする必要がある。そして、本地域は米・林業等が大事で、米であればおいしい米のつくり方や売る方法等を地道に考えることが大切だ。地域づくりとは何か、と言うより、地域づくりをどのようにしましょうか、という状況ではないか。

○**丸藤百合子委員** 地域から学校がなくなり、高齢化社会と過疎化が進む状況ですが、住んでいる者はそこで生きていかななくてはならない。皆さんの意見をいろいろお聞きしましたが、リーダーの育成を図り、地域を引っ張ってもらう必要があると思います。

○**土井棟治朗委員** 大上段に構えなくても、地域づくりとは昔からやってきたことではないか。何がそこでできるかがそれぞれの地域の特色で、八幡に今まであったものを大きく広げるのも地域づくりの一つの方法ではないかと思います。

○**土井議長**　今までは行政からあれもこれもやってもらい、行政コストが高くついていたが、時代が変わりそうは行かなくなった。これまでの行政頼みの姿勢ではなく自分たちでできることは自分たちで、という方向に市民の意識を改革する必要があるのではないかと考えます。

○**後藤甚一委員**　今日、朝の見守り隊で観音寺の人から、大沢地区の子供の挨拶について誉められ、地域づくりは子供の挨拶から、ということもあっていいのかなと思いました。

○**土井議長**　総合支所から総括として、何かありますか。

○**後藤支所長**　地域づくりに対する委員の意見を伺い、感心いたしました。NPOとしては升田に「美しい庄内」の事務所がありますが、環境保全関係の事業を主に行い、地元よりも地域外の活動が主ではないかと思えます。それから、障害者福祉関係で「なのほな畑」があり、福山で活動しておりますが、地域外からも子供が来ているそうです。これから新しく作るよりも、皆さんから関心を持ってもらうことが大切ではないか、と思えます。また、本市では公益のまちづくり、ということで、東北公益文科大を拠点にNPOの活動に対し力を入れていきます。先ほど来、委員からあったように、地域づくりとは、自分の地域を良くしたい、という思いが原点ではないか、と思えます。それから、リーダーは自分が輝いていないと誰も付いてきません。旧町時代に地域づくりの中核を育成しようということで、外部の先生を呼び、その中で今でも「伊藤塾」というのが残り、がんばっています。そのメンバーのつながりで、沖縄県東村との相互交流を行っているわけです。リーダーの育成ということで言えば、人の前に立つと叩かれるのが普通だそうです。私自身は、人前で自信を持って話すことも大事ですが、思慮深いことも必要なのではないか、と感じます。また、自分たちでできることから、共鳴する人を巻き込んでいくのが早いのかな、と思えます。それから、昨年度協議した産直「ららら」の件ですが、冬季のトイレ管理の予算が厳しいという意見が本協議会で出され、市に要望した結果、予算が増額されました。ただ、自分たちでできる事は勉強して、経営感覚を身に付けていただきたいと思います。その他、バスの問題等ありますが、提言を一つ一つ生かしておりますので、ご理解いただきたい。

○**高橋知美委員**　皆さんの中に、それぞれの地域づくりの考えがあることが認識できました。私のテーマはほんの雑談中にもできることですが、きっかけがなければ形にはなりません。区長会、PTA等いろいろな会合で、地域のことを話題にすることにより、地域づくりの意識が高まると思えます。そして、他の成功している所は共通した理由があるはずなので、それを勉強してもらいたいと感じます。そのためにも、地域づくりのコーディネーターを呼んで話を聞く等は、意味のあることではないでしょうか。

○**土井議長**　それでは次にまいりたいと思えます。前回協議しました信夫委員の「荒瀬川ふれあい水辺の創造について」と後藤純子委員の「地域の宝の掘り出しについて」の課題について、補足等がありましたらお願いしたいと思います。

○**後藤支所長**　信夫委員の課題については、担当課を通じ、庄内総合支庁に要望活動を行う予定であると共に、市長に対するこの会の活動報告でも話すことになろうかと思えます。また後藤委員の課題ですが、例えば、支所管内の施設等について、我々もどれだけ

把握しているのか、ということもありますので、半日ぐらいかけて、一度、協議会委員で見て回るのもいいのではないかと、逆に提案したいと思います。

○**後藤純子委員** 地域の宝という事で、農産物、伝統芸能、工芸品等、様々な情報を出していただきたい。前回何人かの意見を伺いましたが、他の方からも出していただければと思います。

○**後藤征四郎委員** 本地域にもまだ知られていない物、場所等がいろいろあると思います。

○**土井議長** 宝と言うものは、各々の価値観で違うと思いますが、次回の協議会で発表し合い、その後、皆さんで見学に行くということがあってもいいのではないかと思います。

○**信夫一秋委員** 前回、3つのふれあいゾーンの創造ということで提案し、特に今の中学校統合に伴い、「体力づくりゾーン」が公共性・重要性が高いと考えています。ところが、先日、日向川左岸の堤防、芹田側がグラウンドゴルフ場の中まで舗装されていました。市の中でどのように調整されているのかと疑問に思いました。

○**後藤支所長** 芹田の件については、行政で要望したという経過はありませんが、結果的に舗装された、ということです。「体力づくりゾーン」については、後日行われる予定の市長への協議会の活動報告時にも優先的に実施していただくよう、要望したい。

○**信夫一秋委員** 「体力づくりゾーン」は中学校統合に関連するものなので、よろしくお願ひしたい。

○**後藤純子委員** ところで中学校が統合し、駐車場はあれで充分ですか。

○**後藤支所長** 現在の工事で若干整備するようですが、統合準備委員会で充分だと結論を出しております。

○**土井議長** 「体力づくりゾーン」については、行政当局でもよろしくお願ひしたいと思います。次に移ります。コミュニティ振興会が発足して約1年が経過しようとしていますが、現時点での問題点等について、それぞれから出していただきたいと思います。一條地区からお願ひします。

○**佐藤重孝委員** 公民館組織と違い、地域内の全ての団体を網羅する必要があるため、これから組織の見直しを行うことにしています。

○**後藤甚一委員** 昨年の11月から今の場所に移りましたが、大変使いやすく、地域住民は楽しくやっているようです。これまで以上に行事を増やすのではなく、今までの行事をさらに充実したものにしていきたい。今後とも、コミセンを地域の拠点として、頑張っていきたい。

○**後藤正利委員** 日向地区も昨年の11月より新しい施設になりました。使いやすい反面、学校跡地なので面積が広く、グラウンドの除草を含めた施設管理等の問題があります。

○**土井議長** 観音寺コミセンは同じ建物の中に、行政と同居という状態で、また本年より夜間・日直業務が委託されています。課題としては、8つの専門部会があり、3つは自分たちでやっていますが、残りは事務局で手取り足取り支援している状態です。やはり自らで円滑に活動できるように、人材育成等に取組んでいきたい。

5 総合支所からの報告事項等

- 土井議長** 次に移ります。総合支所より、「八森自然公園の土砂採取に係る現状報告について」をお願いします。
- 後藤支所長** 本件については、11月に一條コミセンで住民説明会を開催したところです。既にマスコミ報道でご存知のとおり、「八森の自然を保全する会」で計画中止を求める署名簿を市に提出いたしました。ただ、今現在、皆さんにはっきりした情報を提供できないという状況です。後日、説明会を開催することになりますが、そこで出された質問で即答できない項目については持ち帰り検討し、再度、説明会を開催して回答する・・・、という手順になろうかと思えます。なお、過日、八幡地域コミ振連会長と鳥海やわた観光の社長が整備推進の要望書を提出したところですが、市側は「地域の皆さんの意見を聞いてやっていきたい」旨、回答したと聞いています。
- 高橋知美委員** 先ほど、市側は今後も説明会を開催する、とのことでしたが、説明会よりも、賛成派・反対派、両方を交えたディスカッションがいいのではないかと思います。そして、司会も第3者で、全ての意見を考慮できるような人が望ましいのではないかと考えますが、いかがですか。
- 後藤支所長** 今度の説明会では意見を述べる人には挙手を求める等、しっかりと会議を整理すると共に、一つ一つ丁寧に回答していくことになろうかと思えます。また、議会答弁でも、地元に必要な説明を行う、と述べております。
- 後藤甚一委員** 私は委員にこの問題に対し、賛成か反対かを聞いてみたいと思えますが、私は賛成です。それほど眺望にも問題はないですし、何より、市がお金をかけずにきれいにしてもらえるのだとすれば、これほどいいことはないのではないかと。
- 後藤純子委員** サッカー場等について、年間の利用状況と、団体から施設改善の要望について、市に伺いたい。
- 後藤支所長** サッカー場については年間約2,200人ですが、ほかに散策や自然観察会等で訪れる人はカウントできないため不明です。ただ、そうしたカウントできない人たちの意見も聞く必要があります。それから、施設について言えば、サッカーコートは大丈夫ですが、ラインより外側の余裕幅が不足しているため、中途半端な大会しかできないそうです。それから排水と駐車場の問題があり、試合がある時など、車は下のやまゆり荘の分岐点までつながる状況とのことでした。
- 信夫一秋委員** 前の協議会で図面をもらいましたが、それ以降、計画は変更ありませんか。それから、跡地利用を考慮したもう少し詳細な図面をお願いしたい。
- 後藤支所長** あくまでも当初計画の図面であるので、変更はあると思えますが、もしこうしてもらいたいという意見があれば、是非、説明会の場で発言願いたい。
- 土井議長** その他ということですが、何かございますか。
- 丸藤百合子委員** 大沢地区の後口山から青沢にかけての歩道が除雪されず、雪に覆われています。今月から旧大蔵小学校の解体工事が入り、大型車が通行するので、何とか除雪をお願いできないものか。小学校が統合したため除雪しない、ということらしいが。
- 土田建設産業課長** 歩道除雪の対象は通学路となっておりますが、本件について、地元

から除雪の要望があることは承知しています。ただ、学校は統合したものの除雪は従来どおり、と簡単にはいかないもので、何らかの理由付けを現在考慮中です。なお、県に対しては、粘り強く要望すると共に、来年度当初の要望には是非入れていきたい。

○後藤支所長 民生委員会で委員からの発言でそのことを知り、学校統合にあたっては地域に迷惑を掛けない、としたことから、その場で陳謝し、現在、県に要望している状況です。それから、旧大蔵小学校の解体工事を3月いっぱいまでの予定で行っております。また、市条において、鳥海やわた観光が3月26日まで乳製品の工場を建設中です。最後に、旧八幡郵便局の交差点に、3月19日までに信号機が設置されるとの連絡が来ております。八幡神社の信号機とリンクする形とのこと。

○土井議長 予定の時間を過ぎましたが、以上を持ちまして、地域協議会を終了したいと思います。

6 閉 会

○兵藤副会長 これを持ちまして、第4回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さんご苦労様でした。